

《平成30年度事業計画》

1. 基本方針

現在、技術の進歩により情報発信の手法が大きく変わってきており、SNS等で注目を浴びた観光地・食べ物・イベント等には、若者、訪日旅行者が多く訪れております。また、PR方法もそれに伴い「インスタ映え」するような方法に変化してきています。むつ下北地域は、下北ジオパークに認定され観光資源も豊富でありますので、時代の変化に遅れないように情報発信を行い、消費拡大と交流人口の拡大を重要視して参りたいと思っております。また、県や市町村のほか関係機関との連携を強化し、県外客の誘客促進を図ることに努めることといたします。そして、地域経済の回復に貢献するため、次の事業を実施いたします。

2. 実施事業

(1) 公益目的事業1・・・伝統芸能及び伝統文化等の継承・振興に関する事業

①第46回おしまこ流し踊り（8月18日）

京都祇園の流れを汲む下北半島の代表的祭りである「田名部神社祭礼」において、約600名の踊り手による「おしまこ流し踊り」の実施。

②各種行事等に対する支援・協力（むつ夏まつり）

「大湊ネブタ」（8月第1金土日）への協賛。各種行事等の開催日等を記載したポスターを作成し、むつ市内はもとより、下北地域・県内の観光施設等に掲載しPRする。また、夏まつり期間中において住民の楽しめる企画の検討。

(2) 公益目的事業2・・・観光振興・誘客促進に関する事業

①むつ桜まつり（4月28日～5月6日）

桜の名所早掛沼公園及び水源池公園に於いて半島随一の桜まつりの開催。

②2018ミスおしまこ選定（5月下旬）

むつ下北地方に由緒ある美人の代名詞「おしまこ」にちなんだミスおしまこを選定し、各種キャンペーン行事等でのPR活動。

※上記2項目については、役員各位の募金活動によって実施されます。

③受入態勢整備事業

恐山大祭（7月20日～24日）

日本三大霊場「恐山大祭」への協賛として、沿道への看板設置や危険防止としてのロープ張り、臨時駐車場と臨時観光案内所を設置する。

ライトアップ（4/28～5/5、7/中旬～8/中旬）

観光客受入態勢整備強化と誘客を目的として、アーチ式ダムのライトアップを実施する。

④下北半島地域の活性化を図るため、第13回むつ市花火大会を開催する。

※「あげは蝶」の花火を組み込む。

※花火大会は、役員各位の募金活動によって実施されます。

- ⑤ むつ下北の情報を発信するため、ホームページの充実を図る。また、旅行エージェント、観光客等への問い合わせやパンフレットの送付も行う。
- ⑥ 助成金活用事業（9月中旬～10月中旬）
むつ市の夜景を観光資源として確立させるため、PRを兼ねた無料送迎タクシー観光客を対象として40日間の運行を検討している。また、それに伴い団体客を対象に予約制で小型バスを運行する（ガイド付き）。目的は「むつ市の夜景」は観光資源に成り得るかどうかを、検討する資料の作成にある。
※助成金活用事業（観光資源PR事業）は（財）むつ小川原地域・産業振興財団の助成金を活用し実施されます。
- ⑦ 国内において、下北観光を促進するための活動を行う。